

朝礼 校長講話（2月6日）

先週の金曜日は節分でした。学校の給食でも、豆、大豆が出ましたし、家でも豆まきなどをした人もいないでしょうか。この「節分」という行事というか、昔からの風習は、文字通り「節を分ける」というものでした。節というのは季節のことです。節分までは「小寒」「大寒」といって寒い時期ですが、節分の翌日は「立春」といって、暦の上では「春」といわれる時期になります。しかし、現実には、今日もそうであるように今が寒さの底といわれる、一年で一番寒い時期です。しかし、そんな寒い中でも、時折、春を感じる時があるというのが、これからの季節です。

しかし、その春を感じるのも、それまでの寒い時期があるからこそ、「暖かくなったなあ」「春だなあ」と感じるのもあって、これがずっと暖かい日が続いていけば、きっとそれを感じることはないでしょう。

このことを皆さんの生活に当てはめて考えてみると、今は、冬の時期だと思います。寒さに震えながら、でも歯を食いしばってでも勉強や部活動に取り組みなくてはならない時期なんです。しかし、そこを乗り越えた先には、春がやってきます。学年がひとつ上がったり、目標とする進路へ進んだりします。大変かもしれませんが、今ががんばりどころだと思います。3年生は先週、私立高校や専修学校の推薦入試がありました。ぼちぼちその結果も届いている頃だと思います。また今週は一般入試が3日間の日程で行われます。健康に気をつけて、乗り切ってほしいと思います。また、2年生や1年生は「学力コンクール」や「学力向上プロジェクト」などの取組をしています。今の学年で身につけるべきことはしっかり身につけて春を迎えてください。